

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0102106 - 20010

京 都 府 南 丹 市

作成日: 平成21年05月08日

事業名	パートナーシップ推進事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名	市民協働推進事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				企画管理部 企画推進課 担当: 中島 しのぶ
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 431 <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input type="checkbox"/> その他 ()				
		関連法令・条例等					

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
「住民参加条例（仮称）」の制定に向けて取り組む事業。
- ②事業を実施する必要性
行政、市民共に協働のあり方を重視した推進は不十分であり、意識の変革が求められる。そのため、本市の特性にあった市民協働の定義を見出し、市民と共通の認識を持ち合うことが重要であり、本事業の展開により市民と共に担うまちづくりの手法を検討する必要がある。
- ③未実施事項
条例制定に向け、検討委員会の設置を行い会議を推進していただいたが、条例制定には至らず、継続の協議とした。
検討委員会の協議は、あえて行政が素案を提示することのないゼロからの協議としたこともあり、委員相互の熱心な協議が繰り返され、大変実り多い話し合いとなっているが、そこまでの協議に時間を費やしたため、検討委員会の枠を広げた多くの市民と共に考える場の設定や、大学連携の講座開設には取組めなかった。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円			573	468	190
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円			0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0
	地方債	千円		0	0	0
	一般財源	千円		573	468	190
職員等従事人員	人/年	—	—	0.40		
人件費	千円	—	—	2,644		
事業費総額	千円	—	—	3,217		

【主な支出の内訳】

・南丹市市民と共に担うまちづくり手法検討委員会 477,205円 (委員報償費等)

【近隣市町村の取り組み状況】

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

- ②当該事業のアピール事項
住民参加条例の制定により、自助・共助・公助のバランスを重視した地域経営体制の確立がされる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
本市の特性にあった市民協働の定義による条例制定が必要である。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	431	事業名	パートナーシップ推進事業			
事業CD.	102106-20010	細事業名	市民協働推進事業			
所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当	中島しのぶ	

102106-20010

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
検討組織の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●市民と共に担うまちづくり手法検討委員会 有識者、市民委員による検討委員会を設置し、南丹市の特性にあった協働のあり方を検討した。 ●市民共同プロジェクト委員会 全課から代表者を選任して組織したプロジェクト委員会において、行政事務事業の現状を見直し、今後の協働事業への展開について検討を進めた。 	9月～(毎月開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会委嘱 15人 ・7回の検討委員会を開催
HP	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ、広報なんたんへの「市民協働」コーナー掲載 検討委員会の協議を原則公開とし、協議の予定や話し合われた内容をホームページ、広報なんたんに掲載し、周知を図った。 		